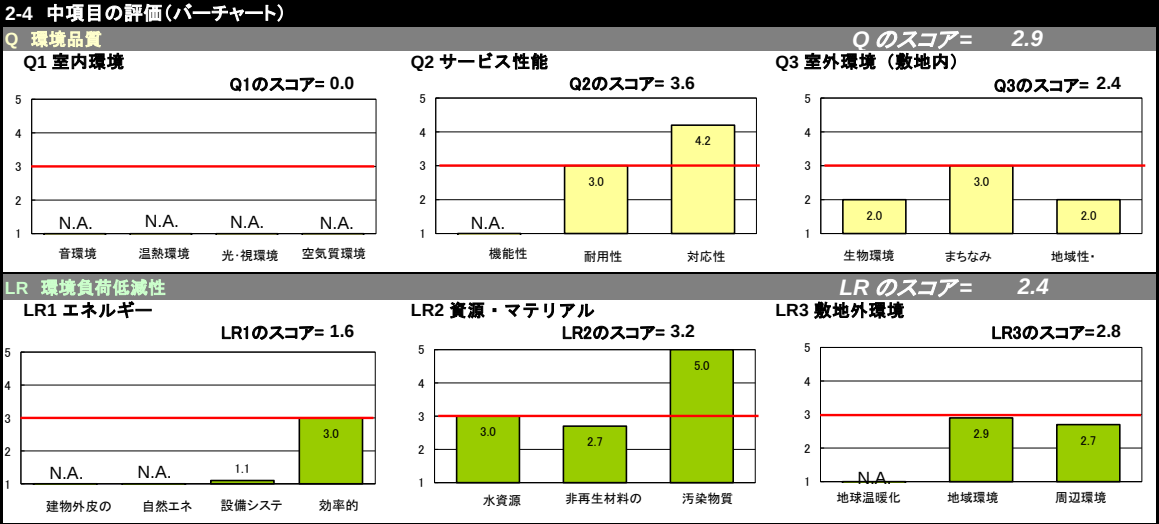
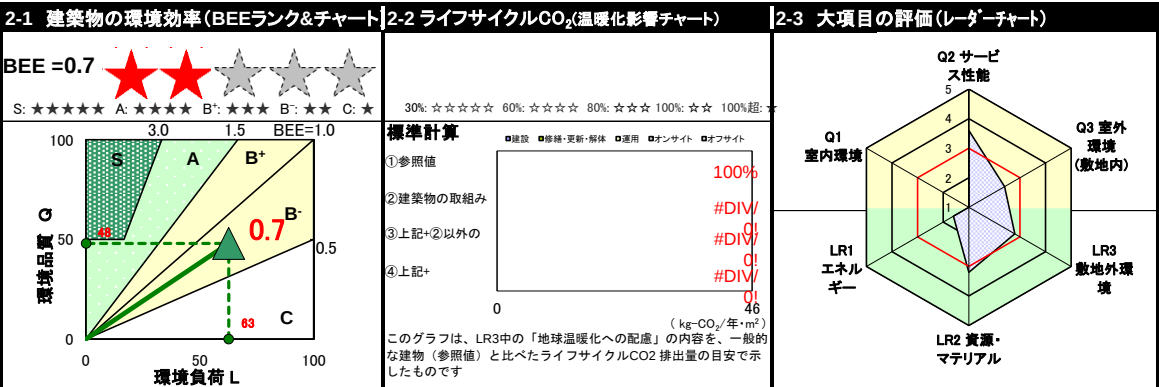




評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)マルアイユニティー豊橋東IC倉庫(B棟)	階数	地上1FL	
建設地	愛知県豊橋市東細谷町字工業団地4-1 他15筆	構造	S造	
用途地域	無し	平均居住人員	10 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	1,834 時間/年	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2025年12月 予定	評価の実施日	2024年10月25日	
敷地面積	10,100 m ²	作成者	幸 克洋	
建築面積	4,073 m ²	確認日	2024年10月24日	
延床面積	3,420 m ²	確認者	幸 克洋	



3 重点項目		
①地球温暖化への配慮	N.A	③敷地内の緑化
		2.0
		外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)
②資源の有効活用	3.3	153.0 %
		建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)
		0.0 %
④地域材の活用	1.0	＜外装材に使用した地域性のある材料＞
		なし
		＜建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材＞
		なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}}$ × 100

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}}$ × 100



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
(仮称)マルアイユニティー豊橋東IC倉庫(B棟)

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階										
		独自基準				建物全体・共用部分			住居・宿泊部分	住居・宿泊部分		
配慮項目		重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質												2.9
Q1 室内環境												
1 音環境						-	-	-	-	-	-	-
1.1 室内騒音レベル						3.0	-	-	-	-	-	
1.2 遮音						-	-	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能						-	-	-	-	-	-	
2 界壁遮音性能						-	-	-	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	-	3.0	-	
1.3 吸音						-	-	-	-	3.0	-	
2 温熱環境						-	-	-	-	-	-	-
2.1 室温制御						-	-	-	-	-	-	
1 室温						3.0	-	-	-	3.0	-	
2 外皮性能						3.0	-	-	-	3.0	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	-	-	-	3.0	-	
2.3 空調方式						3.0	-	-	-	3.0	-	
3 光・視環境						-	-	-	-	-	-	-
3.1 昼光利用						-	-	-	-	-	-	
1 昼光率						3.0	-	-	-	3.0	-	
2 方位別開口						-	-	-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	-	-	-	3.0	-	
3.2 グレア対策						-	-	-	-	-	-	
1 昼光制御						5.0	-	-	-	3.0	-	
3.3 照度						3.0	-	-	-	3.0	-	
3.4 照明制御						3.0	-	-	-	3.0	-	
4 空気質環境						-	-	-	-	-	-	-
4.1 発生源対策						-	-	-	-	-	-	
1 化学汚染物質						3.0	-	-	-	3.0	-	
4.2 換気						-	-	-	-	-	-	
1 換気量						3.0	-	-	-	3.0	-	
2 自然換気性能						3.0	-	-	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	-	-	-	3.0	-	
4.3 運用管理						-	-	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	-	-	-	-	-	
Q2 サービス性能							-	0.43		-	-	3.6
1 機能性						-	-	-	-	-	-	-
1.1 機能性・使いやすさ						-	-	-	-	-	-	
1 広さ・収納性						3.0	-	-	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	-	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		独自				3.0	-	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性						-	-	-	-	-	-	
1 広さ感・景観 (天井高)						3.0	-	-	-	3.0	-	
2 リフレッシュスペース						3.0	-	-	-	-	-	
3 内装計画						3.0	-	-	-	-	-	
1.3 維持管理						-	-	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	-	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保						-	-	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性						0.5	3.0	0.52	-	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						0.4	3.0	0.48	-	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	3.0	0.80	-	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	3.0	0.20	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						0.3	3.4	0.33	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						-	3.0	0.42	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						-	4.0	0.42	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						-	3.0	0.17	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						-	-	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						-	-	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						-	-	-	-	-	-	
2.4 信頼性						0.1	2.4	0.19	-	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	1.0	0.20	-	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	2.0	0.20	-	-	-	
3 電気設備						3.0	3.0	0.20	-	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	3.0	0.20	-	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	3.0	0.20	-	-	-	

3 対応性・更新性			0.4	4.2	0.48	-	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり			0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり			-	5.0	0.60	-	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	5.0	0.40	-	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	5.0	0.31	-	3.0	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性			-	-	-	-	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	-	-	-	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.33	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.33	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.57	-	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			独自③	2.0	0.30	-	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	1.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	2.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	1.6
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化			BEI=	3.0	1.1	0.71	-	-	1.1
4 効率的運用				0.2	3.0	0.29	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング				-	3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制				-	3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	3.2
1 水資源保護				0.1	3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				1.0	3.0	1.00	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	2.7	0.63	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.25	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			②	-	3.0	0.21	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			独自	3.0	1.0	0.21	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自	3.0	4.0	0.25	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	5.0	0.22	-	-	5.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	5.0	1.00	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				-	-	-	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				-	-	-	-	-	-
3 冷媒				3.0	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮			①	-	-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮				0.5	2.9	0.50	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止				-	3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	2.7	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			独自	-	3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制				-	3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制			独自	-	4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				-	1.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				0.5	2.7	0.50	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-
1 騒音			独自	-	3.0	1.00	-	-	-
2 振動			独自	-	-	-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				-	3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				-	1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				-	3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				0.2	1.6	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				-	1.0	0.70	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	3.0	0.30	-	-	-

重点項目スコアシート

(仮称)マルアイユニティー豊橋東IC倉庫(B棟)

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新編)2016年版+あいも版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				N. A
LR3-1	地球温暖化への配慮	0.0	0.00	
② 資源の有効活用				3.3
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.2	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

環境設計の配慮事項

■建物名称 (仮称)マルアイユニティー豊橋東IC倉庫(B棟)

計画上の配慮事項	
総合	これは、CASBEEあいち2016年による評価
Q1 室内環境	なし
Q2 サービス性能	2.2.2外壁仕上げ材に耐用年数30年のガルバリウム鋼板を利用している。 3.1.1天井高が高く、倉庫部分にゆとりがある。(軒高GL+9.1m) 3.1.2壁長さ比率が非常に小さく(0.09)、空間の自由度が高い。 3.2倉庫・移動ラックエリア床の積載荷重が30,000N/m ² と大きい。
Q3 室外環境(敷地内)	1外構緑化指数は150%で敷地内緑化に配慮している。
LR1 エネルギー	なし
LR2 資源・マテリアル	2.6壁の躯体と仕上げ材の分別が容易になっている。 3.1有害物質を含む材料の利用率が低い。
LR3 敷地外環境	2.3.3敷地や建築物に対し十分な台数の駐車場を設置し、交通負荷が抑制できるよう配慮した。
その他	マルアイコミュニティー株式会社は、物流倉庫業や一般貨物自動車運送事業、アウトソーシング業を手がける会社です。